

# 地域に根ざした 女性部活動

## 老人保健施設への寄贈



地域住民との交流や地産地消運動の一環として、女性部能代支部は9月6日に市内3カ所の老人保健施設へ、採れたて野菜とタオルの寄贈を行いました。

この取り組みは毎年行われており、当日は女

性部員が愛情込めて栽培したカボチャやジャガイモなどを、各施設へ寄贈しました。このうちJAデイサービスセンターいなほの里には、佐々木博子女性部長ほか2名の女性部員が訪れ、「皆さんの元気が地域の元気につながるの  
で、美味しい食事を食べて、これからも健康に過ごしてください。」と話して手渡しました。受け取った利用者からは、お礼に歌の大合唱がプレゼントされました。



▶感謝の気持ちを込めて合唱する利用者

## 女性組織リーダー研修会



9月10日に秋田市JAビルで、平成25年度秋田県JA女性組織リーダー研修会が開催されました。JA女性組織について理解を深め、活動を次代につなげようと、県内各JA女性部リーダーなど

約200名が参加し、研修会や活動報告等を行いました。当JAからは、佐々木博子女性協会長など11名が参加しました。活動報告では、当JA女性部副部長の藤原京子さんが、今年から展開している『絵手紙講習会』などを通じて、女性部員同士はもとより、地域住民との交流がより一層図られ、女性部活動への理解が深まった結果、40名の新規会員が加入したことなどを発表しました。



▶JAにおける女性の力の重要性を話す佐々木会長

## ミニデイサービス



地域貢献活動の一環として、JA助けあい組織は9月12日に藤里町大沢地区で、9月20日に二ツ井町切石地区で、それぞれミニデイサービスを開催いたしました。

このうち切石地区で行ったミニデイサービスには、地域住民など約60名が参加。はじめに、助けあいグループたんぼほ会の藤田ミヤ子会長が、「この会を通じて、住民同士の交流と絆を深め、楽しく笑いあって元気に過ごしてください。」と挨拶しました。その後、JA福祉介護課職員を講師に、ジャンケンや盆踊りなどを交えた健康レクリエーションが行われたほか、昼食交流会も開催され、終始笑顔にあふれたイベントとなりました。



▶白熱したチーム対抗戦

